

緊急

文学の海へ
文学は1400字じゃ
書ける

文学

小説生対 エンクール

むさしの

賞

受賞作品は
新潮社より
本になる!

読みたい。

主催
武蔵野文学館

後援
武蔵野大学

協力
新潮社



詳しくはコチラ



Après La COVID-19
学校2021*

むさしの学生小説コンクール 応募要項

■背景と趣旨

2020年3月、武蔵野大学の文学部では、新型コロナウイルスの影響により生じた自粛期間を、自宅で書物を精読する時間と位置付けました。コロナ禍で閉館を余儀なくされた図書館や資料館や古書店、文学館や博物館や美術館などで一次資料と向き合い、映画館や劇場、舞台上に足を運んで本物に出会う機会を重んじてきた文学部としては苦渋の選択でしたが、書物の精読、散策、思考、執筆という基本的な文学活動が健康な生活を守ることに反しないと言えるのは幸いでした。

私たちは、今年度の新入生が卒業するまでにはキャンパスの平常化が進むことを待望しつつ、たくさんの本を読んで自由な思索(詩作・試作)に耽り、文学部の学生としての基本を守り、目立たなくとも有意義に過ごすことを願ってきました。折しも、「むさし野文学館」(2018年竣工、2020年度グッドデザイン賞受賞)の公式サイト(<https://www.musashino-bungakukan.jp>)を立ち上げ、デジタルアーカイブの構築を開始するとともに、オンライン展示をおこなうタイミングとも重なりました。

そうした中で、武蔵野文学館では、「むさしの学生小説コンクール」と銘打ち、困難な状況の中で行動の自由を奪われている皆さんが書いた原稿を募集することとします。最終選考を通過した原稿に対しては、武蔵野文学館が新潮社と提携して支援をおこない、本にして世に出します。「自粛」を通じて育んだ知見と創見を書物に著す機会と捉えていただけましたら幸いです。

■テーマ

「学校2021+」というテーマを選びました。これまでの学校のイメージに縛られる必要はなく、自由に変えたり壊したりしてもらってかまいません。世界の学校では、疫病が蔓延する中でも学びをストップさせないために「オンライン授業」を本格的に導入するに至りました。それを契機として、学校空間の意味が改めて問い直されています。新しいイメージが必要です。

■原稿募集

テーマ：学校2021+

応募規定：短編小説で、日本語で書かれた未発表作品に限ります。枚数は、400字詰原稿用紙換算50枚以下。

20,000字以下であれば超短編でも応募可能です。また何作でも応募できます。書式は自由ですが、縦書きでお願いします(書籍化される場合には縦書きとなります)。

応募条件：現在大学などに籍を置く学生(22歳以上も可)、および将来学生となる可能性のある22歳以下の方(中学生、高校生、専門学校生ほか立場は問いません)

応募方法：公式サイト上の応募フォームよりご応募ください。手書き原稿は不可、電子ファイルのみ受け付けます。

第一次選考の通過者に対しては、メールで通知しますので、必ず連絡が取れるアドレスを記入してください。

スケジュール

応募締切 2021年9月末日

第一次選考 通過作品30編前後を発表(予定)

第二次選考 6編程度を選出し、出版企画のための面接を実施(予定)

最終選考 選考委員(後日発表)による最終選考を行い、授賞式(2021年12月を予定)にて結果を発表。

受賞作品を掲載した短編集を新潮社より刊行。

■注意事項

- ・作品名をファイル名とした電子ファイルで応募してください。書式は自由。縦書きをお願いします。
- ・1ページ目には作品のタイトルのみ記載し、氏名、ペンネーム等は記入しないでください(ただし、タイトルは枚数・文字数に含まれません)。
- ・応募後の作品の差し替えには対応いたしません。
- ・応募作品中に実在する企業名、本人が特定できる個人名等のご使用はご遠慮ください。
- ・審査、審査過程に関するお問い合わせは一切応じられません。
- ・ブログやSNS、投稿サイトに掲載されたものは、現在、Web上で一切見られない状態であれば、未発表作品と見なします。ただし、無料であっても同人誌へ掲載されたもの、

不特定多数へ配布されたもの、電子書籍として出版したものは不可とします。

・他の文学賞等との二重投稿はご遠慮ください。

・万が一、応募作品に、他作品からの盗用、アイデア等の盗用・模倣、本人以外による執筆・加筆・修正、年齢等の虚偽が判明した場合、結果発表後であっても授賞を取り消す場合があります。

・受賞作は、書籍化、電子書籍化、映像化、ゲーム化、海外翻訳その他に関する諸権利(および第三者に利用を許諾する権利)を、当文学館が優先的に管理するものとします(受賞作の利用により当文学館が対価を得た場合、作者に規定の使用料を印税としてお支払いします)。

三田誠広&新潮社

「オンライン創作講座」2月20日(土)開催!

三田誠広(「初心者のための短編小説の書き方」)
&新潮社(「自分からいったん離れてみよう」)

